

## (2) 第8期まえばしスマイルプラン介護基盤整備方針について

令和2年10月29日

## 1. 第8期整備予定

### 第8期基盤整備整理表

施設（サービス）区分	整備区分	整備数			備考
			市方針	医療からの追加需要分※3	
特別養護老人ホーム（広域型）	増床	30床		30床②	
介護老人保健施設	減床	△39床 ※1	△39床		
介護医療院	転換	44床 ※2	39床	5床①	
介護付き有料老人ホーム	新設	80床	80床		1か所
	転換	160床	160床		3か所
グループホーム	新設	36床	18床	18床②	2か所
小規模多機能型居宅介護	新設	1か所		17人③	

※1: 介護医療院への転換に伴う減床

※2: 介護療養型医療施設からの転換: 5床、介護老人保健施設からの転換: 39床

※3: 医療からの追加的需要分(188.34人×3/8年 ≒70人)

⇒7期と同様に、①新類型等転換分(介護療養病床から介護医療院への転換) = 5人

②介護施設等 : ③在宅医療等 = 3:1(国患者調査) ≒ 48人 : 17人

## 2. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

### 介護老人福祉施設の整備計画

#### ■ 介護老人福祉施設 待機者調査結果

※別添 参考資料①参照

	A	B	未定	合計
要介護5	94	37	3	134
要介護4	133	43	6	182
要介護3	119	51	10	180
合計	346	131	19	496



#### ➤ (考え方)

「要介護3～5の待機者496人」を1年以内に入所できることを基本に整備を進める。

(1)「入所者の緊急性が高い緊急度A」(今すぐ希望する):346人  
⇒一方で、令和元年度実績で1年間の退所者数は396人  
**346人-396人=50床(余剰数)・・・ア**

(2)「1～3年程度で入所が必要となる見込み緊急度B」  
(今すぐ希望しない):131人  
**ア-131人=-81床(不足数)・・・イ**

(3)第7期計画に基づき今後開設する数は97床  
**イ-97床(増加数)=-16床(余剰数)**

(4)「希望未定」の待機者:19人  
有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅により、希望未定の待機者の受入も可能。

#### ■【整備方針】

新設の整備は行わないこととし、既存施設の増床30床  
⇒「医療からの追加的需要分」の対応

## 2. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

### 介護老人福祉施設の整備計画

#### ■ 介護老人福祉施設 第8期整備計画

	床 数			定 員	備 考
	創設	増床	転換		
既存施設(H29年度末)				1,845	施設数:26か所
第 7 期 整 備	72(広域)※1 25(密着)	10(広域)	0	107	※1:第6期計画分
<b>第 8 期 整 備</b>	<b>0</b>	<b>30</b> ※2	<b>0</b>	<b>30</b>	※2:医療計画追加需要分
合 計				1,982	施設数:28か所

### 3. 介護老人保健施設、介護医療院

## 介護老人保健施設・介護医療院の整備計画

#### ■ 介護老人保健施設 第8期整備計画

- 空床有の施設が12施設中11施設36床(R2.8施設からの例月報告)
- 全入所者の内39人が5年以上の長期入所(令和2年8月給付実績)  
⇒長期に医療提供を受けながら生活できる施設整備が必要
- 定員総数:1,044人、入所者総数:1,014人(R2年8月給付実績)  
⇒余剰が30床程度ある。

#### 【整備方針】

介護医療院への転換により、△39床

	床 数		定 員	備 考
	創設	増減床		
既存施設(H29年度末)			1,034	施設数:12か所
第7期整備	0	10	10	
第8期整備	0	△39	△39	
合 計			1,005	施設数:11か所

#### ■ 介護医療院 第8期整備計画

#### 【整備方針】

- ①介護療養型医療施設からの転換:5床 ※必須分
- ②介護老人保健施設からの転換:39床

	床 数		定 員	備 考
	転換	増減床		
既存施設(H29年度末)			0	
第7期整備	26	0	26	施設数:1か所
第8期整備	44	0	44	
合 計			70	

#### 4. 介護付き有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)

### 介護付き有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)の整備計画

#### ■ 介護付き有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護) 第8期整備計画

##### 【整備方針】

①既存施設からの転換:3施設160床

②新設:1施設80床

- 高齢者の住まいの受け皿となっている住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅において、介護保険サービスを受けられる環境整備を進める。
- 施設・居住系サービスの給付額が全国平均より少ない。※【資料1】13頁を参照
- 施設への意向調査で転換希望が8施設298床あった。
- 一方で、適切なサービスを提供できる事業所を選定する必要がある。

	床数		定員	備考
	新設	転換		
既存施設(R2.8.1時点)			600	施設数:10か所
第7期整備	80	0	80	予定整備施設数:1
第8期整備	80	160	240	予定整備施設数:4
合計			920	施設数:15か所

## 5. 地域密着型サービス施設

### 地域密着型サービス施設の整備計画

#### ■ 地域密着型サービス施設 第8期整備計画

- ニーズ調査の結果、東ブロック(桂萱・大胡・宮城・粕川圏域)全体で認知症リスクが高い傾向にある。
- 圏域別高齢者人口(R2.6.30時点)と各施設定員数より、グループホーム1床あたりの高齢者人口で考える整備率が全15圏域中で低いのは、以下の圏域。  
・城南圏域:18床(12位) ・大胡圏域:9床(15位) ・宮城圏域:9床(11位) ・粕川圏域:9床(14位)
- 城南・大胡・宮城・粕川圏域には、在宅生活における必要なサービスに柔軟に対応できる小規模多機能型居宅介護が1事業所もないため、市域の配置バランスも勘案し、第7期に引き続き当該圏域に整備誘導したい。

	グループホーム		小規模多機能		看護小規模多機能		定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	備考
	施設数	(定員)	施設数	(定員)	施設数	(定員)	施設数	
既存施設(H29年度末)	38	459	18	495	0	-	1	
第7期整備	2	36	1	29	1 ※計画外	29	2 ※内1施設は計画外	
廃止	-1	-9	-1	-29	-	-	-	
第8期整備	2	36	1	29	0	0	0	
合計	41	522	19	524	1	29	3	

- 令和3年度
  - ・認知症対応型共同生活介護(18人)
  - ・対象圏域:城南・大胡・宮城・粕川圏域を除く、市内全域
- 令和4年度
  - ・小規模多機能型居宅介護と認知症対応型共同生活介護(18人)の併設
  - ・対象圏域:城南・大胡・宮城・粕川圏域を優先するが、市内全域も可とする。